

<彫刻の部>

(重要文化財を国宝に)

もくぞう ゆいまこじざぞう 一軀
木造維摩居士坐像

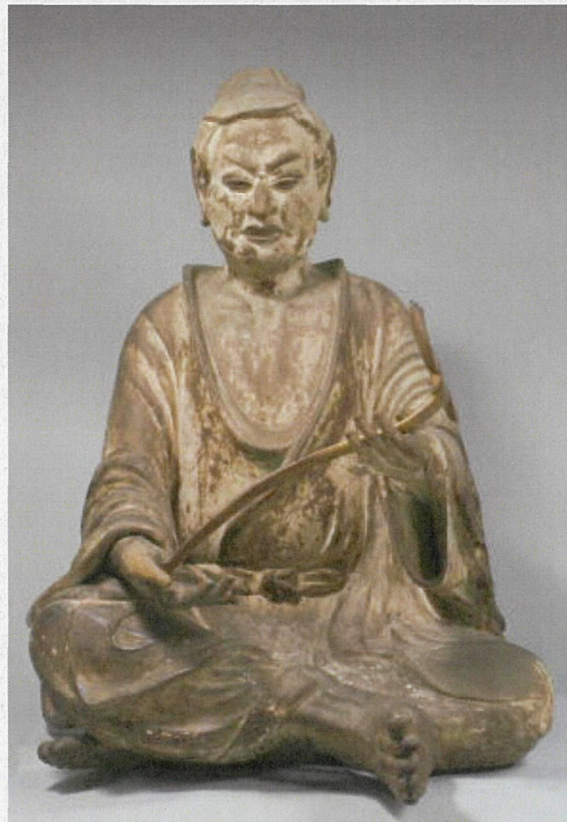
【所有者】宗教法人法華寺（奈良市法華寺町882）

【大きさ】像高90.8cm

古くより肖像彫刻の名品としてよく知られる像である。口を開き発語する瞬間を捉えた写実的な面貌表現は天平彫刻的であるが、側面観での力強い構えには平安前期につながる特色がうかがえる。

藤原鎌足が創始したとされ興福寺で最も重要な^{ほうえ}法会であった^{ゆいまえ}維摩会が8世紀後半に一時、興福寺から法華寺に移されて行われており、この時に造立されたとみられる。

^{かんしつぞう}乾漆像として重要文化財に指定されていたが、X線CT撮影などにより^{もくちようぞう}木彫像としての技法や保存状態が確かめられた。（奈良時代）



写真提供：文化庁

○全国 国宝・重要文化財（美術工芸品）指定件数

種 別	新 指 定 件 数		合 計
	国 宝	重要文化財	
絵 画	0	7	2, 0 1 7 (1 6 0)
彫 刻	3	4	2, 7 0 1 (1 3 4)
工 芸 品	0	5	2, 4 5 7 (2 5 3)
書 跡 ・ 典 籍	2	3	1, 9 0 9 (2 2 7)
古 文 書	1	4	7 6 4 (6 1)
考 古 資 料	1	7	6 3 3 (4 7)
歴 史 資 料	0	7	2 0 5 (3)
合 計	7	3 7	1 0, 6 8 6 (8 8 5)

(注) 合計欄括弧内の数字は国宝の件数で、内数である。

○奈良県 国宝・重要文化財（美術工芸品）指定件数

種 別	現 在 数	新 指 定 件 数				合 計
		重文から 国宝	未指定から 重文	県指定か ら重文	重美から 重文	
絵 画	89 (9)					89 (9)
彫 刻	495 (72)	1				495 (73)
工 芸 品	209 (36)					209 (36)
書 跡 ・ 典 籍	172 (11)					172 (11)
古 文 書	45 (1)					45 (1)
考 古 資 料	38 (8)					38 (8)
歴 史 資 料	12 (0)					12 (0)
合 計	1, 060 (137)	1				1, 060 (138)

(注) 合計欄括弧内の数字は国宝の件数で、内数である。